

## 市議会(9月定例会)の評価

春日市議会運営委員会

市議会では、春日市議会基本条例に基づき、定例会ごとに議会活動の評価を行います。

今回、市長から提案された議案二十件が各委員会に付託されました。また、議員から議案一件・意見書案一件が提出されました。

今回、決算審査特別委員会を設置し審査しました。従来は決算審査特別委員会は九月に設置し、十二月までの間に継続審査していました。次年度の予算編成に反映する為に、九月定例会で審査終了し、議会改革にもなりました。

各常任委員会での審査後、最終日の本会議で各委員長からの報告があり採決が行われました。第四十九号議案・決算審査・意見書については賛成多数で、その他の議案は全員賛成で可決されました。

一般質問は、十四人が行いました。特に総合スポーツセンター施設整備等については、五人の議員から質問があり、関心の深さがうかがわれました。二日間にもわたり質問や要望があり活発に意見が交換されました。

議会傍聴者は二日間で三十二人でした。詳細は、市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

## 会派視察報告

## 研究フォーラム

近未来21共同研究グループ、創政会、衆政会、翔春会は、十月十二・十三日に青森市で開催された第六回全国市議会議長会研究フォーラムに参加した。

一日目は元総務大臣・東京大学公共政策大学院客員教授の増田寛也氏より「二元代表制と地方議会改革」と題して基調講演があった。地域主権戦略大綱の概要、名古屋市や阿久根市を例に挙げ「首長と議会の対立」が及ぼす問題点、市民に与える影響、今後の地方政治の在り方を述べられた。続いては「地方議会と直接民主主義」と題しパネルディスカッションが行われた。コーディネーターに(財)東京市政調査会研究担当常務理事の新藤宗幸氏、議会代表として青森市議会の花田明仁議長が参加し、活発な議論が交わされた。

二日目の課題討議では、「議会基本条例について」をテーマに、帯広・越前・伊賀・京丹後などの各市議会議員から、条例制定までの経緯、議会報告会の在り方、今後の検討課題について各

市の取り組みが発表された。本市はすでに議会基本条例は制定済みであるが、大変参考になる有意義な内容であった。

今回のフォーラムの内容を、今後の議会活動に反映できるよう更なる調査研究に努めたい。

## 会派視察報告

## 創政会

青森で実施された第六回全国市議会議長会研究フォーラムへの参加に続き、十月十四日弘前市の行政視察を実施した。

弘前市は個人市民税の1%相当額(六千万円)を財源に、市民活動団体の自由な発想に基づき自らが実践するまちづくり活動、地域づくり活動の提案を受け、公開審査により提案事業への補助を決定する「市民参加型まちづくり1%システム」事業を実施し、市民の自主的なまちづくりへの参加意識並びに意欲の向上など地域の活性化に成果を上げていた。また、成果発表を計画するなどその効果についても適正に評価する一貫性のあるものとなっており、事業計画上大いに参考になった。



弘前市視察

## 市議会報告会を開催しました

十月二十六日、ふれあい文化センターで、春日市議会報告会を開催しました。

この報告会は、平成二十一年に制定した春日市議会基本条例に基づき、日頃の議会活動の報告及び市民の皆さんとの意見交換を行うために開催するもので、昨年引き続き二回目になります。

当日は、全議員(二十人)が出席し、会場には、市民以外にも、他市の行政職員や議会関係者の方々など百八十七人に参加していただきました。

報告会では、議会の仕組みや

役割、九月定例会の報告などを行い、会場の皆さんとの意見交換を行いました。一時間三十分という短い時間でしたが、活発な意見を出していただくことができましたと思います。

報告会後のアンケートでは、「議会が何をしているのか理解できなかった」などの言葉を頂く反面、「用語が難しい」「報告会のことを知らない人が多く、もっと広く周知するべき」などの意見も多数あり、今後の議会活性化に向けて、十分に活用させていただきます。

今後もさらに充実した報告会を開催する予定です。多くの方の参加をお待ちしています。今回の報告会に参加いただき、誠にありがとうございました。



市議会報告会